

小学校 第6学年 外国語活動学習指導案

日 時 平成28年1月2日(水) 公開授業Ⅲ

学 級 小学校 6年

男子3名 女子2名 計5名

場 所 小学校 第5・6学年教室

指導者 鈴木 誠 (HRT)

千葉 伴 (ALT)

1 単元名 Lesson 6 What time do you get up ? 「一日の生活を紹介しよう」

2 単元設定について

本単元のねらいは、二つある。

一つ目は、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れることである。児童は様々な活動を通し、時間や動作の言い方に慣れ親しみながら、自分の一日の生活時間を紹介したり、友だちや先生、先輩の生活時間を尋ねたり聞いたりすることであろう。これらのことから、本単元は、外国語に慣れ親しむことで、他者への関心を高めることに適した単元であるといえる。また、人はいろいろな面で違っているため、生活時間にも違いがあってよいことに気付くことで、友だちや先輩、先生方の発言を大切にし、お互いを認め合うことができるであろう。特に、身近な存在である中学生の生活時間を垣間見ることで、部活がある学校生活に憧れをもったり、期待に胸を躍らせたりすることであろう。これらのことから、本単元は、外国語に慣れ親しむことで、互いの生活を尊重する考えをもつことにも適した単元と言える。

二つ目は、様々な国の現在時刻の言い方とともに時差について知ることである。児童は、世界の国々の様子に興味をもつことができ、自分と世界とのつながりを気付くことができるであろう。このことから、本単元は、外国の文化への興味関心を深め、日本と世界とのつながりをとらえさせることに適した単元と言える。

6年生の児童は、今までの学習の積み重ねができており、言語を用いてコミュニケーションを図ることや、外国語への慣れ親しみ・外国の文化への興味関心をもつことについては、おおむね良好といえる。

そこで、本単元では、外国語への慣れ親しみをさらに深めさせるために、外国語を用いて会話する活動に、より多く取り組ませたい。活動内容としては、「ナンバーゲーム」「ジュースチャージャーゲーム」「ステレオゲーム」「カードゲーム」「メモリーゲーム」「友だちへのインタビュー」が挙げられるが、それらを効果的に授業に位置付ける。また、慣れ親しみだけでなく、「友だちへのインタビュー」では、友だちの新しい一面を知ることにより、互いのことを尊重する考えをもつ機会としたい。振り返りの場面でも、相互評価によるフィードバックタイムを位置づけ、認め合う場を保障したい。

3 単元の目標と評価規準

◎積極的に自分の一日を紹介したり、友だちの一日を聞き取ったりしようとする。

○生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

○世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味をもつ。

評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・自分の一日の生活時間を紹介したり、友だちの一日の生活時間を聞いたりして、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

【慣れ親しみ】

- ・生活を表す表現を用い、一日の生活時間を尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

- ・世界には時差があることや、その時の行動を知ること、世界ではそれぞれの地域で様々な生活をしていることに気付いている。

4 単元の指導計画(5時間扱い 本時 4/5)

時	目標(○)と活動内容(・)
1	<p>○動作や時刻の言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTとALTが英語で話す中学校の頃の生活時間の会話を聞き、自分もできるようになりたいという願いをもち、学習計画を立てる。 ・「ナンバーゲーム」1～60までの数を言う。 ・「時計に針や数字を書こう。」算数セットの時計を使い、時刻を聞いて表す。 ・「ジェスチャーゲーム」動作を当て、動作を表す表現を知る。 ・「チャンツ ♪What time do you get up? ♪」
2	<p>○動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を用いて、自分の生活を紹介する活動をしたという意欲を継続的にもつ。 ・「ナンバーゲーム」1～60までの数を言う。 ・「時計フラッシュ」カードを見て、時刻を言う。 ・「時計に針や数字を書こう。」時刻を時計に書き込む。 ・「カードゲーム・メモリーゲーム」動作を表す表現を聞いて、ゲームをする。 ・「チャンツ ♪What time do you get up? ♪」 ・「さくらの一日を書こう。」さくらの一日を聞き取り、自分と比べる。
3	<p>○生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ①</p> <p>○世界には時差があることやつながっていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャンツ ♪What time do you get up? ♪」 ・「先生の一日を当てよう①」先生に生活時間を尋ね、生活時間を聞き取る。 ・「自分の現在の一日」をプリントに書く。 ・「世界の時刻を四角に書こう。」日本が午前8時の時に、他の国は何時かを聞き取り、絵の下に時刻を書き込む。 ・「世界をつなげよう」地図の都市と絵を線で結ぶ。世界時計をつくる。
4 (本時)	<p>○生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャンツ ♪What time do you get up? ♪」 ・「インタビューゲーム①」友だちに生活時間を尋ね合ってワークシートに記入する。それらを比べて、○○が一番早いのは誰かを見つける。(理由を尋ねる) ・「インタビューゲーム②」教室を自由に歩いて、生活時間を尋ね、ワークシートに記入する。それらを比べて、○○が一番早いのは誰かを見つける。(理由を尋ねる) ・「部活のある中学校の一日」を考え、プリントに書き、発表する。(事前に聞いておきたいことがあったら中学校の先生に質問する)

5	○時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ショー・アンド・テル」「部活のある中学校の一日」を紹介したあとに、友だちや教師からアドバイスをしてもらおう。 ・「自分の一日と外国の時刻をつなげよう。」自分のスケジュールがほかの国では何時になるか考える。

5 本時の目標

積極的に自分の一日を紹介したり、友だちの一日を聞き取ったりしようとする。

6 本時の指導の構想

(1) 「見通しと振り返り」の位置づけ

見通し HRTとALTが英語で話す生活時間の会話を聞き、自分もできるようになりたいという願いをもち、自分たちで立てた学習計画のもと、自分たちで学びをつくる意欲をもつ。

振り返り 学習プリントを用いて、上手にできたところや楽しかったところ、気付いたこと等、振り返る。また、相互評価によるフィードバックタイムを位置づけ、認め合う場を保障する。

(2) 指導構想及び留意点

児童に学習計画を立てさせるが、次のような計画になると考えられる。

ステップ1 単元全体の見通しをもつ。動作の名前や時刻の言い方を知る。

ステップ2 動作の名前や時刻の言い方に慣れる。

ステップ3 友だちと自分の「現在の自分の一日」を比べる。

ステップ4 「一番は誰か」を調べ、参考にし、「部活のある中学校の一日」の計画を立てる。

ゴール 「部活のある中学校の一日」を英語で話したり、聴いたりする。

上記の学習計画で単元を構成し、ゴールの「部活のある中学校の一日」を、英語で話すことができるように様々な活動を意図的に学習に位置付ける。本時ではステップ4に取り組ませる。英語については、自分と友だちを比べて考えるためのツールとして扱う。

(3) 評価規準

本時の評価規準	支援の手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の一日の生活時間を紹介したり、友だちの一日の生活時間を聞いたりして、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを確認するために学習計画を掲示し、ゴールを意識させる。 ・動作を表す語を想起させるためにジェスチャーを取り入れたり、思い出すために尋ねる聞き方を使わせたりする。

7 本時の展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価の観点
<p>導 入 5 分</p>	<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 めあてをたてる。 めあて 「一番は誰か？」を調べよう。</p> <p>3 「チャンツ♪What time do you get up?♪」</p>	<p>○明るく元気にあいさつすることで、学習の始まりを意識させ、楽しい雰囲気を作る。 (児童) Let's begin English, Good morning Mr,Chiba and Mr,Suzuki How are you ? (A L T、H R T) I'm fine, How are you ? (児童) I'm○○</p> <p>○学習計画を振り返り、「部活のある中学校の生活時間」を考え、計画を立てることを確認する。 ○様々な場面を想定し、時間を設定するためには、あらかじめ聞いておかなければならないことがあることにも触れておく。 ○言葉を変えて歌わせる。</p>
<p>展 開 3 5 分</p>	<p>4 見通し ・学習計画を確認する。 ・今の自分と友だちの生活時間を比べ、参考に にする。 ・今の自分と先生方の生活時間を比べ、参 考にする。 ・「部活のある中学校の生活時間」を考 える。</p> <p>5 Activity 1 ・「ステレオゲーム」</p> <p>6 Activity 2 ・「インタビューゲーム1」 ・4人の友だちと自分の今の生活時間を比べ、 一番早い人に理由を聞き、参考に する。 ・「起きる」「登校する」「部活をする」 「下校する」「夕食を食べる」「寝る」時 刻と、もう一つの時刻を尋ね、ワークシ ートに記入する。</p>	<p>☆単元の学習計画と本時の学習過程を俯瞰さ せ、今日の学習の見通しをもたせ、意欲を喚 起させる。 《発言・観察》</p> <p>○行動・時間の言い方に慣れさせる。</p> <p>○出会ったときの“Hi.”や別れるときの “Thank you.” “Bye.”などの挨拶が自然に できるように、H R TとA L Tが初めに手本 を示してから、活動に取り組みさせる。 ○教室内を自由に歩いて、友だちの生活時間を 尋ね合って、ワークシートに記入させる。 ☆英語の表現やアイコンタクト・クリアボイ ス・ジェスチャーを使って尋ねたり答えたり している。《行動観察》</p> <p>○うまく質問できない児童や答えられない児童 の支援をする。</p> <p>○ワークシートをもとに、一番早く○○するの は誰かを見つけさせる。理由を聞くことで、 いろいろな生活様式があり違いがあつてよい という認識をもたせる。</p>

<p>展 開</p>	<p>7 Activity 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インタビューゲーム2」 ・先生方と自分の今の生活時間を比べ、一番早い人の理由を聞き、参考にする。 ・「起きる」「登校する」「部活をする」「下校する」「夕食を食べる」「寝る」時刻と、もう一つの時刻を尋ね、ワークシートに記入する。 ・先生方と自分の今の生活時間を比べ、自分の参考にする。 <p>8 Activity 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「部活のある中学校の生活時間」をワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室内を自由に歩いて、先生方の生活時間を尋ねて、ワークシートに記入する。 ☆英語の表現やアイコンタクト・クリアボイス・ジェスチャーを使って尋ねたり答えたりしている。《行動観察》 ○ワークシートをもとに、一番早く〇〇するのは誰かを見つけさせる。 ○ワークシートに書く前に、中学校の先生に中学校生活で大切なことを質問する。
<p>終 末 5 分</p>	<p>9 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックタイムとして、感想を発表し、交流する。 ・学習プリントの振り返りを記入する。 <p>10 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○場面を明確にしてから、感想を発表させる。 ○上手にできたところや楽しかったところ、気付いたこと等、振り返る。 ○気付きを次の単元や次の時間のめあてに結び付ける。

8 板書計画

Lesson 6 Wednesday, November 2th

1時
2時
3時
4時
5時

「一番は誰か？」を調べよう。

What time do you get up ?

I get up at ◎. ※絵を貼る。

I go to school at◎.

I go to the club at◎

I come home at◎

I eat dinner at◎

I go to bed at ◎.

I at ◎ I eat breakfast at◎

- ・学習計画を確認する。
- ・今の自分と友だちの生活時間を比べ、参考にする。(インタビューゲーム1)
- ・今の自分と先生方の生活時間を比べ、参考にする。(インタビューゲーム2)
- ・部活のある中学校の生活時間を考える。